

令和2年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
若年性認知症支援者研修会 オンライン開催 報告書

1. 研修会名：「令和2年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症支援者研修会」
2. 目的：若年性認知症の方々が、個々の状態に応じた適切な支援が受けられること。  
認知症と診断されても治療しながら働く（両立支援）・就労支援について普及啓発実施。
3. 主催：沖縄県（受諾 特定医療法人アガペ会）、共催：認知症疾患医療センター
4. 対象：医療・福祉・就労に携わる支援者、若年性認知症初期相談対応職員。
5. 方法：平成31年3月 認知症介護研究・研修大府センター作成  
“企業等を対象とした若年性認知症の理解促進に向けた研修会テキスト”を基に  
沖縄県内の支援状況と就労支援の方法について説明を実施。

6. 開催地区並びに開催日、時間、会場について

開催地区	開催日及び時間	定員数
中部地区 南地地区 宮古地区	令和3年度2月26日（金） 14時30分～16時（入室14：00～）	Zoom 接続数 100 台

7. 参加費用：無料
8. 申込方法  
参加希望者は事業所名、メールアドレス、参加者名を入力の上、メールで申し込み。  
\*申し込み期間：令和3年2月10日（水）～令和3年2月17日（水）  
\*Zoom 接続数に限りがある為（100台）、1事業所1台のみに限定。（人数の制限はなし）
9. テキスト：研修後に個人情報を除いた資料を法人ホームページからダウンロードできるよう対応。
10. 広報
  - ・新オレンジサポート室：「R2年度若年性認知症支援推進事業」チラシ・ポスター郵送 7/6 434件
  - ・県高齢福祉課：「若年性認知症支援者研修会要項」を福祉関係機関へFAX
  - ・新型コロナウイルス感染拡大により、延期となっていた若年性認知症支援者研修会（中部地区・南部地区・宮古地区）に申込みを頂いていた方と認知症疾患医療センター（121名）対象に、「若年性認知症支援者研修会オンライン開催のご案内」と「要項」をFAXで送信。
11. 申込人数 82名

12. 参加人数 80名 (医療6名、行政12名、包括51名、介護保険事業所6名、社協5名)

13. 研修内容

【若年性認知症当事者の就労について、沖縄県内の支援状況】

		内容
1	事業説明	若年性認知症支援コーディネーター業務について ・事業報告
2	就労支援	若年性認知症・認知症とは 若年性認知症の人への就労支援 ・雇用期間中にできること、ジョブコーチ支援、福祉的就労、社会参加 ・ソフトランディングの視点 ・若年性認知症支援コーディネーターの役割について
3	沖縄県の現状	・沖縄県内の若年性認知症当事者の就労について事例報告 ・若年性認知症当事者・家族による自助活動グループ「フンドウ」紹介
4	質疑応答	本日の研修内容について質疑応答

14. 質疑応答

なし → 研修後に記載頂くアンケート用紙にて、確認実施へ。

15. アンケート結果 回答43名 回収率 53.7%

16. アンケート内容

\*回収方法：Zoom 招待メール送信時にアンケート用紙を添付し、研修後に FAX でオレンジサポート室に送っていただくようお願いした。

質問1 現在、またはこれまでに、若年性認知症の方の就労支援をおこなったことはありますか。

ある 5 支援内容 ・就労支援につなげる ・就労支援（A型・B型・移行）へのつなぎ  
・利用できる制度の案内 ・B型就労  
・障害年金取得後、介護保険のサービス利用につなげた

ない 33

相談がない 3

その他 2 ・就労と介護保険サービス利用を同時に相談する事は可能か？との問い合わせあり。  
・認知症初期チーム員からの引継ぎで今月から対応。

質問2 現在、若年性認知症の方を支援していますか。または、支援が必要な方はいますか。

いる 9 困っていることなど

・認知症の症状が軽度で、介護保険サービスにも障害福祉サービスにも馴染めず  
交流の場にも出向けない。

- ・十分支援できているか不安。

いない **34**

質問3 本日の研修会で若年性認知症の方の就労支援について理解できましたか。

とても理解できた      まあ理解できた      難しかった  
**16**                              **26**                              **1**

質問4 若年性認知症支援コーディネーターの役割について理解できましたか。

とても理解できた      まあ理解できた      難しかった  
**19**                              **23**                              **1**

質問5 本日の研修会で参考になったこと。

- ・認知症の方を支援するような情報は自分から求めていかなければ、なかなかつかめないのだと思った。
- ・ジョブコーチ派遣の活用。
- ・認知症や要介護状態が若年化する中、いろいろな情報が知れて良かった。
- ・若年性コーディネーターの役割、若年性認知症の人の数、県内での支援人数、高齢者の認知症の人との支援の違い、社会制度（特に就労）、若年性認知症の人の声。
- ・「認知」「徘徊」と言わないこと。
- ・若年性認知症に関する相談が1938件と多く驚いた。
- ・受診は認知症疾患医療センターが良いという情報を伺えてよかった。
- ・気づきから支援につながるまでの流れを詳しく知ることができてイメージができたので良かった。認知症高齢者との違いなども教えてもらえることで分かりやすく、地域での関わりの参考になった。もっと地域への認識の普及が必要と感じた。
- ・脳神経外科を受診するよりも認知症専門の病院を受診した方が良いということ。診断を受けていなくても相談できるということ。
- ・男性の方に多いこと、受診するまでに時間がかかり症状が経過していることがあると分かった。
- ・「若年性認知症」と診断されたら介護保険を使わないといけないと思ったが、本人の希望に沿って障がいの方で進めていっていいことなどを知れて良かった。
- ・本の貸し出し、作品展示もある事、当事者の気持ち（認知✕、徘徊✕）が知れた。
- ・早期から介入できると就労、その後の行き先等、より本人の意向に沿えた支援ができる事。
- ・相談者数を把握することはできたが、対象者、支援開始につながった数を知ると、社会資源を活用できていない空白の時間について考えないといけないと思った。
- ・切れ目ない支援を行うために、早期の関りや関係機関との連携が必要になることを学んだ。
- ・県内にコーディネーターが配置されての相談件数など集計データが把握でき、若年性認知症本人・家族支援について周知活動のコーディネーターを中心とした支援の流れや制度活用などについてとても参考になった。
- ・支援の流れやどのような機関・事業所が関わっているのかを具体的に知ることができた。

- ・就労している方は退職する前に行う支援が多くある事。
- ・退職前に医療につなぐことが大切。それが課題だと知った。広報・周知が必要だと思った。
- ・実例が聞けたので良かった。
- ・具体例を聞いて良かった。
- ・高齢者における認知症と異なり、多方面（経済・就労・子育て）の支援が必要だと分かった。
- ・利用できる制度・しげんについて。
- ・就労の実際の事例紹介
- ・就労支援について

質問6 コーディネーターに望むこと、コーディネーターから欲しい情報はありますか。

- ・認知症になっても支えてくれる人と場所があれば、何かしら働くことができる事が分ってよかった。
- ・脊髄小脳変性症による認知症の面で気づかされた。経過がわかりやすかった。仕事（福祉的就労、居場所づくり・社会参加併用）
- ・認知症疾患医療センターとの連携方法を学びたい。
- ・沖縄市（各市町村）や各包括圏域で支援を受けている（支援を必要としている）若年性認知症の人の数。
- ・若年性認知症カフェやフンドゥーの見学はできますか。
- ・お忙しいと思いますが、これからもよろしくお願いします。
- ・コーディネーターの存在やSOSのシステム等、初めて知ったので若年性認知症などに関する役立つ情報を障害福祉の分野の事業所や相談員にも情報提供してほしい。
- ・今回、就労支援について学ぶことができ良かった。対応やその他サービス利用に繋げるまでの事例についてもいろいろ参考にしたい。
- ・若年性認知症本人・家族カフェを今後市町村単位にて開催する際、情報提供してほしい。
- ・支援者としての経験が浅いので、必要に時相談できたらと考えています。
- ・人それぞれなので事例での説明がわかりやすかった。
- ・今後も同様に、支援について一緒に考えていければと思っています。
- ・何か困ったときに一緒に動いてくれるだけで心強い。
- ・県内の就労についての情報。
- ・個別相談、家族支援について。
- ・新情報提供をよろしくお願いします。

質問7 今回の講演会についての満足度を教えてください。

とても良かった	まあ良かった	良くなかった	回答なし
<b><u>21</u></b>	<b><u>19</u></b>	<b><u>1</u></b>	<b><u>2</u></b>

質問8 今後、オンラインでの研修会を開催した場合、参加したいと思いますか。

参加したい **42** （参加できるネット環境：職場 **34**・個人 **1**・両方 **5**・回答なし **2**）

参加したくない **0** ・ 参加できない **0**

## 回答なし 1

### 質問9 次回への要望や感想など（自由記載）

- ・とても良かったです。若年性認知症の方の状況と、必要とされる支援がわかったような気がします。
- ・広く様々な方と連携されているのが良く分かりました。大変勉強になりました。
- ・開始 30 分前に入室したのですが、音声が入っているのか否か分からず開始まで不安でした。できれば音声テストか音楽が流れていると状況がわかり調整できるのかなと思いました。
- ・大変勉強になりました。
- ・相談支援専門員へも研修をしたようですが参加できていないので再度やってほしいです。（企業→福祉的就労→介護保険など。使えるサービスなど。）
- ・就労支援についての研修を受けて支援の流れも参考になりました。お忙しい中調整していただきありがとうございます。ネット環境でも研修に参加できてよかったです。
- ・相談→診断→介護保険と進んでいったケースは対応した事ありますが、活動事例も参考になりました。
- ・若年性認知症本人の声が聴ける講演会等企画していただきたいです。
- ・勉強になりました。次回も楽しみにしています。
- ・職場支援が充実している方、そうでない方等を教えてほしいです。
- ・20代でも発症していることを知り、誰でも発症する可能性があるものだと思います。今後支援する人も出てくると思うので、今回の研修を活かせるようにしたいです。
- ・事前に資料が欲しかった。若年性認知症支援者研修会に初めて参加だったが手元に資料もなく画面上での講話だったので理解が難しかった。若年性認知症カフェに参加してみたいです。
- ・事前に資料があればと思います。

## 17. 主催者の所感

新型コロナウイルス緊急事態宣言の期間中ではありましたが、支援者研修の延期を行った本島中部・南部・宮古地区の申込者を対象としてのオンライン研修の開催を行いました。当初予定していた研修延期について申込者に連絡をした際、事業所でオンライン開催実施準備がありオンライン開催であればその方法で参加が可能という意向確認が出来ていた為、初めてのオンライン研修開催を致しました。

新型コロナウイルスの感染予防対策の中で実施した石垣島地区・本島北部の2会場での研修を振り返り、就労支援の内容だけではなく若年性認知症支援コーディネーターの業務について事業報告の必要性を感じたこともあり、1月末までの相談状況等を資料に加えて作成しました。又、支援者研修2会場の開催後に、ネットワーク会議開催や「治療と仕事の両立支援セミナー」で沖縄県労働局・沖縄県産業保健総合支援センターのセミナー登壇する機会があり、その際作成した資料を利用した方が、より支援者に就労支援について理解できるのではないかと考え、資料の練り直しを行い研修に臨みました。

感染予防対策の観点から実際に会場で実施した石垣島・本島北部の1時間という制限のある研修と比べて、オンラインでの開催は1時間30分という時間の中で、じっくり説明する時

間が確保出来たと感じております。15：45 以降を質疑応答の時間にあてましたが、チャットへの質問記載がなく質疑応答で挙手がなかった為、16：00 終了予定でしたが、15：50 分頃には終了としました。

今回は就労支援についての内容となる為、就労支援事業所等の支援者も対象としましたが、当初参加申込者がいなかったことは今年度の課題と感じております。研修開催の週に県から障害福祉課を通して就労支援事業所への参加声掛けの機会を頂きましたが、初めてのオンライン研修開催ということもあり、参加人数枠の制限の観点と、就労支援事業所のオンライン設備等の確認作業等のやり取りをするには、時間的に困難な状況も踏まえて、今回は就労支援事業所へのアプローチは見送る判断を致しました。

支援者研修開催の前に、参加者が各自で事前に資料をダウンロード出来るように準備する予定であったが、事業報告の資料を追加で挿入とした為、事前に準備が間に合わず提供できませんでした。その為、研修会当日研修開始時間前まで、資料問い合わせの電話やメールが集中し、対応に追われました。次回からは研修前に資料配布出来るよう整えたいと思います。

以上